

## ■車中泊避難所運用ルールについて

### □考え方

- ・細かく規定しない⇒運用しながら決めていく  
避難者が運営に関わる仕組み（お互いさまの気持ち）  
トラブル事例集？⇒よりよい事例集？
- ・予め決めておくこと⇒運用しながら決めること  
⇒事前に決めておく
- ・再配置は必須



### □運用ルールの要検討事項

- ・アイドリングについて
- ・音/光について
- ・テント設営についての可否
- ・運用時間（24H出入り可？）
- ・駐車場を離れる場合の対応  
（例：1泊⇒届出でOK 2泊以上⇒×）
- ・緊急事態の知らせ方  
（例クラクションの鳴らし方）
- ・火気（カセットコンロ）使用について
- ・満車時の対応  
⇒キャンセル待ち or 他の車中泊避難所設置
- ・喫煙（場）のルール
- ・飲酒のルール
- ・ゴミの回収方法、出し方のルールについて
- ・提案/苦情/要望への対応について など



# 車中泊避難所の可能性

～車での避難生活をイメージするために～



一般社団法人九州防災パートナーズ



2021年度日本郵便年賀寄付金助成

協力 高知防災プロジェクト 別府市 北九州市社会福祉協議会 福岡県営中央公園（指定管理者（株）岡崎建工）

## ■車中泊避難所において避難者がすべきこと

### □健康面

- ・エコノミークラス症候群対策  
⇒水分補給  
適度な運動（1日3,000歩目安）

### □運営面

- ・ゴミの管理（分別/捨て方）
- ・再配置への同意
- ・連絡手段（携帯・LINE）への  
情報提供と連絡グループ参加
- ・避難所での役割

### □車内外環境の整備

- ・車内で脚を伸ばして寝ることのできる  
状態（フラットな状態）をつくる
- ・適切な車内人数での利用（車種/定員）
- ・車内環境を快適に保つ工夫  
⇒換気（外気導入）  
アイドリング（暑さ寒さ対策）
- ・車中泊グッズの用意  
（例：サンバイザー・カーテンなど  
（プライバシーの確保））
- ・雨天時の対応  
⇒車外に荷物を置くことができる方法
- ・車の性能、状況の確認  
（例：ハッチを開けた車長の確認）



## ■車中泊避難とは？

災害時に車で避難生活をする事。災害時に自宅での生活が出来ない場合に車の中に避難する事を言います。  
車を移動手段として避難行動を行う事=自動車避難ではなく、避難場所として車を選ぶ事を指します。



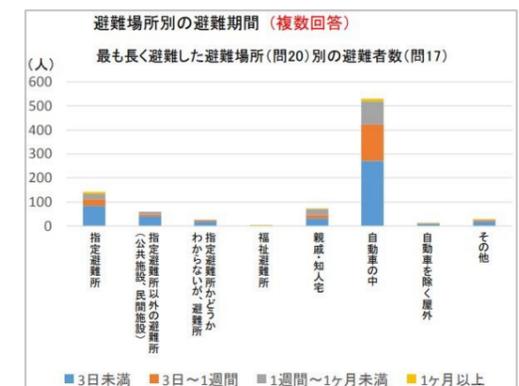
## ■車中泊避難と体育館避難のリスク比較

	プライバシーの保護	温度湿度（暑さ/寒さ）	防犯	におい	感染予防対策	ペット同伴	エコノミークラス症候群	避難者の把握
車中泊避難	○	○	○	○	○	○	△	△
体育館避難	×	×	△	×	△	△	○	○

⇒エコノミークラス症候群の予防対策と車中泊避難所として、避難者の管理を行えば車中泊避難の課題は克服できる！

## ■車中泊避難は有力な避難の選択肢の1つ

熊本地震被災者アンケート（熊本県）によると、自宅被害やインフラ被害がなかった避難者（869人）のうち、約6割（528人）が「自動車の中」に、最も長く避難したという結果がでています。



# 【車中泊避難所の考え方】

ここでは予定避難所に併設された車中泊避難所を想定します

## ■ゾーニング

- スペース区分（車中泊避難者⇔一般駐車場 要支援⇔自由尊重 男⇔女など）
  - 車路の確保（w:5~6m）/出入口の確認、確保
  - 駐車区分け（既存駐車場：1台につき2台分 グランド等 w:3.5m×d:5.0~6.0m）
    - ➔車+生活空間の確保
  - 避難所機能の配置（トイレ/排水/ゴミ捨て場/給水/配給所/本部/休憩所）
  - バッファゾーン➔受付時、車を一時的に駐めておける場所。接続道路の渋滞を防ぐ
- ※入口で受付しない！奥or最上階などを活用

## ■車中泊避難所設置手順

- ①出入口確保/確認
- ②車路の確保  
幅5~6m / 一方通行
- ③トイレ/ゴミ収集場所の決定  
その他必要機能の配置
- ④避難車両駐車スペースの確保  
(w3.5m×D5.0or6.0m)  
➔図面の用意  
災害対策本部への  
情報提供として
- ⑤バッファゾーンの確認
- ⑥受付
- ⑦運営/支援



## ■車中泊避難所の機能

- 通路（導線） □バッファゾーン
- 受付 □本部・掲示板
- 物資配布（受入）所 □トイレ
- 給排水設備 □電源車 □休憩所
- ゴミ捨て場 □喫煙所

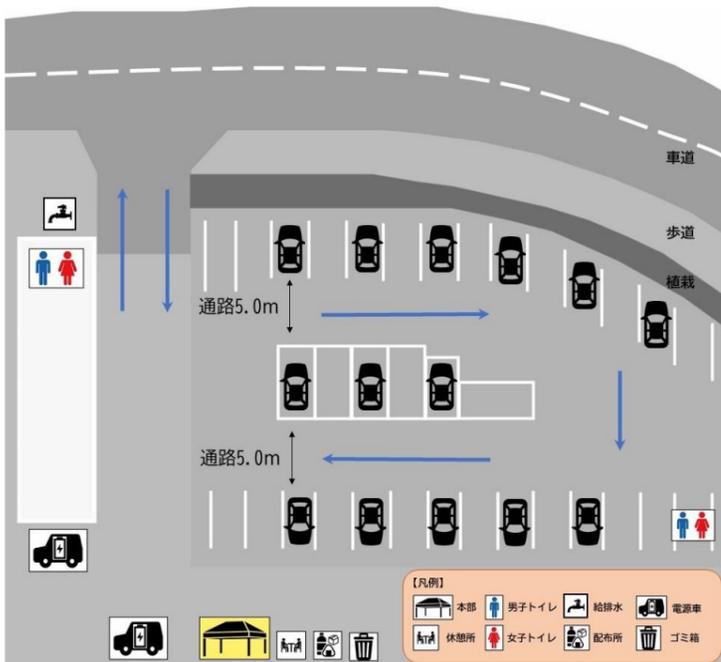


## ■機能と配置のポイント

- トイレ：
  - ・急性期50人/1台➔安定期20人/1台
  - ・男：女=1：3
  - ・感染予防対策（張紙/消毒/ペーパータオル）
  - ・使用後の紙の処理について（分別方法）
  - ・仮設トイレについて  
5000/1台  
➔1.5ℓ/人×5回/日=300回/日

- 給水/排水：
  - ・施設の既存の物の確認（数・場所）
- 電源：
  - ・施設の既存の物の確認（数・場所）
  - ・電源車：性能確認（発電・給電方法）  
1500wの使用用途の想定
- 休憩所：
  - ・日中外に出ない人のための情報交換の場
- 更衣室：
  - ・車内では狭くて難しい
- 本部：
  - ・支援体制と支援内容確立  
➔巡回/情報/物資/医療・衛生等
  - ・避難所内の情報の整理と把握  
施設名/責任者/連絡先（電話）  
避難者数/要配慮者数・属性  
既存の設備/必要物品

## ■車中泊避難所イメージ



## ■車の駐め方

- ◎1台ずつスペースが取れる
- ・デッドスペースが多い
- ・前から入るか後ろから入るかで使い勝手が異なる  
➔生活空間が後方になるので狭く感じる

- ◎誘導しやすい
- ・ドアの開閉方向（スライドドアの勝手方向）に制約あり
- ・車両屋外の生活空間がせまい  
➔緊急時受け入れやすいが避難生活が長期化すると×

- ・ドアの開閉方向（スライドドアの勝手方向）の制約あり
- ◎占有スペースが取れる（運転席側etc）
- ・誘導が必要
- ◎合理的
- ◎再配置の際、有力な駐め方

## ■受付手順



- ※1 車中泊カード項目：
  - 名前/住所/車種/ナンバー/人数/携帯番号/駐車位置
- ※2 必要配布書類：
  - ①避難所でのルール
  - ②再配置の確認
  - ③車中泊許可書
  - ④エコノミークラス症候群の対策

駐車場許可証 (許可証番号)	
車両番号:	_____
駐車番号:	_____
利用人数:	_____
九州防災パートナーズ避難所管理責任者 車中泊避難許可書	

車中泊カード	
氏名	利用人数
住所	連絡先(携帯)
車両番号	駐車位置

## ■必要な支援

- 巡回支援
  - 各車両を見回り、車中泊避難者の「状況確認」「健康確認」
- 情報支援：必要な情報を届ける
  - ・掲示板の設置
    - 情報が掲示板に残る  
➔情報を得る機会の逸失が少ない
    - 情報を見に来る  
➔身体を動かさずきっかけ
  - ・チラシ
    - 車両の再配置など重要情報の周知に有効
  - ・回覧板
    - 避難者相互の関係づくりに有効
    - 日中人がいないときには回らない可能性あり



- ・LINEオープンチャット
  - 設定が容易（個人アカウントからも設定可）
  - 本部一避難者間の連絡手段として有効
  - 名前の変更ができる
  - 後からログの確認ができる
- ・FMトランスミッター
  - FMラジオを介した情報伝達
  - 機材の用意
  - 発信する情報  
➔定時連絡/ローカル情報など